



鳥取・島根大会



米子コンベンションセンター

第45回建築士事務所協会全国大会報告

開催地 / 鳥取県米子コンベンションセンター

日時 令和5年10月13日(金)

第45回全国大会鳥取・島根大会が10月13日(金)に、鳥取県米子市の「米子コンベンションセンター」で開催されました。今大会は「神話のふるさと 悠久の山陰からの挑戦」を大会テーマとし、式典や基調講演、パネルディスカッションをはじめとする様々なプログラムが開催されました。コロナが5類に移行し、行動制限がなく、沢山の方が来場し、盛り上がりを見せた大会となりました。石川会からは、小林会長をはじめとする総勢14名が参加しました。2泊3日の旅程で、大会プログラムの他にも現地の建築や名所などを巡る、充実した旅路となりました。



大会式典前日の12日には、「八百万の神が集う地で想いを紡ぐ～そして全国へ～」をテーマに、若手建築士を中心とした『青年話創会(わそうかい)2023鳥取・島根大会』が開催され、石川会からは山岸副会長、宮坂理事、永井理事が参加し、単位会の活動報告、テーブル討議と題した全国の同年代会員と意見交換など、交流が行われました。

また、大会当日13日の午前には、「生み出す建築、はぐくむ人～今、私たちが伝えていきたいこと～」をテーマに、女性交流会2023鳥取・島根大会が開催され、女性の視点で「働き方、暮らし方」などの意見交換・交流が行われ、石川会からは永井理事が参加しました。

基調講演では内藤廣氏による「 Grantワークから考える山陰からの挑戦」をテーマに大変深みのあるお話でした。

続く大会式典では、日事連建築賞表彰、年次功労者表彰等を行い、佐藤専務理事が年次功労者表彰を授与いたしました。佐藤専務理事、おめでとうございます。式典には全国の建築士事務所協会会員、来賓を合わせ、1,200余名が参加しました。



出雲大社



鳥取砂丘／砂の美術館

視察に関しては、12日(木)早朝に金沢駅からバスで島根県に入り、そこから出雲大社、大社文化プレイスうらら館、島根県立産業交流会館くにびきメッセ、倉吉市役所本庁舎、倉吉白壁土蔵群、鳥取砂丘を見学しました。

中でも、松江市で多くの建築を手掛けている菊竹清訓氏の島根県立図書館、県庁第三分庁舎、東光園は、鉄筋コンクリート造での細かな造作に、設計者の想いと情熱を感じました。

食事も地場の刺身盛り合わせに始まり、生カキや、肉寿司などを堪能し、バスでの時間を含め、参加会員同士の懇親もとても深まったと思います。



東光園



県立図書館



県庁第三分庁舎

来年は、福井大会が福井市にて開催されます。新幹線の開業で石川からは非常に便の良い開催地となります。同じ北陸地方での開催ですので、できるだけ協力、応援していきたいと考えます。最後に企画・運営に尽力された皆様に感謝申し上げます。

文／(株)五井建築研究所 棚木 達郎